

# 予 算 要 求 資 料

令和 2 年度 1 2 月 補正予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：情報化推進費

## 事業名 **新** 市町村共同型行政デジタル化推進費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

総務部 情報企画課 地域情報化係 電話番号：058-272-1111 (内 2256)

E-mail： c11120@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 35,750 千円 (現計予算額：0 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	35,750	0	0	0	0	0	0	0	35,750
決定額	35,750	0	0	0	0	0	0	0	35,750

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

コロナ禍において行政のDX (デジタルトランスフォーメーション) が喫緊の課題となっており、接触や密集を避けるため、行政相談や行政手続のオンライン化が求められている。

県と県内市町村は令和2年8月21日に「オンライン申請活用推進部会」を設置し、各自治体共通の課題であるオンライン申請を始めとする行政デジタル化について検討を進めている。

県内市町村が個別に行政デジタル化に取り組むのは非効率であるため、県内のなるべく多くの市町村に参画してもらい、行政相談にAI (人工知能) が自動応答するチャットボットや、行政手続のオンライン申請について統一感のあるサービスを提供できる環境を構築する。

## (2) 事業内容

- ・ L I N E を入口とした A I チャットボットやオンライン申請機能を構築する。
- ・ 構築方針は以下のとおりとする。
  - ① A I チャットボットは、引っ越しやゴミ出しなど幅広い分野の Q A データを準備し、住民のニーズに的確に応答できる仕組みを構築する。
  - ② オンライン申請は道路破損報告やイベント予約など、住民ニーズが高く簡易に申請できるものを中心に、各市町村が共通で利用できる手続をオンライン化する。

## (3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

## (4) 類似事業の有無

電子申請共通基盤整備事業費 (R2 年度 6 月補正予算 : 39,960 千円)

## 3 事業費の積算内訳

(千円)

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	33,000	A I チャットボット構築費用
	2,750	L I N E 管理ツール導入費用
合計	35,750	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

無

### (2) 国・他県の状況

奈良県等で類似事業実施

### (3) 後年度の財政負担

令和 3 年度以降は運用経費が発生する (各市町村で負担)

### (4) 事業主体及びその妥当性

事業主体 : 県 (県内市町村の行政デジタル化を促すため令和 3 年度から運用開始できる市町村分の構築費については県で負担)

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 令和2年度中に県及び県内市町村のうち、なるべく多くの団体でLINEを活用したAIチャットボットやオンライン申請が利用できる環境を構築する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
LINE を活用したチャットボット導入率	1 団体 (R2)	<div style="position: absolute; top: 0; left: 0; right: 0; bottom: 0; border: 1px solid black; background: linear-gradient(to top right, transparent 49%, black 49%, black 51%, transparent 51%);"></div>	<div style="position: absolute; top: 0; left: 0; right: 0; bottom: 0; border: 1px solid black; background: linear-gradient(to top right, transparent 49%, black 49%, black 51%, transparent 51%);"></div>	<div style="position: absolute; top: 0; left: 0; right: 0; bottom: 0; border: 1px solid black; background: linear-gradient(to top right, transparent 49%, black 49%, black 51%, transparent 51%);"></div>	43 団体 (R4)	%
LINE を活用したオンライン申請導入率	1 団体 (R2)	<div style="position: absolute; top: 0; left: 0; right: 0; bottom: 0; border: 1px solid black; background: linear-gradient(to top right, transparent 49%, black 49%, black 51%, transparent 51%);"></div>	<div style="position: absolute; top: 0; left: 0; right: 0; bottom: 0; border: 1px solid black; background: linear-gradient(to top right, transparent 49%, black 49%, black 51%, transparent 51%);"></div>	<div style="position: absolute; top: 0; left: 0; right: 0; bottom: 0; border: 1px solid black; background: linear-gradient(to top right, transparent 49%, black 49%, black 51%, transparent 51%);"></div>	43 団体 (R4)	%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	コロナ禍において接触や密集を避けるため、行政相談や各種行政手続のオンライン化推進が求められている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価)	

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今年度は構築経費のみとなり、次年度以降は運用経費が発生する。運用開始後の利用状況や県民ニーズ等を踏まえて積極的に推進する。 なお、次年度以降に発生する各市町村における運用経費は、各市町村において負担する方針。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】